



南風原小だより

南風原町立南風原小学校
学校だより 6月号
令和5年6月5日
校長 前城 光 告

学校公開日 参観率90%越える

5月21日(日)の「第1回学校公開日」の参観率が90%を越えました。保護者に加えて、おじいちゃんやおばあちゃんの姿も見られました。運動場をはじめ、南風原町役場駐車場、さきの塔の駐車場運動場もほぼ満車状態でしたが、参観者のご協力のおかげで「兼城」と「宮平・宮平ハイツ・校区外」の2地区に分けての時間帯での車の出入りもあり、周辺地域からの苦情ありませんでした。学校公開日に授業参観された皆様に感謝申し上げます。



「いじめ防止基本方針」の改訂

令和5年度になってから、本校で数件のいじめの事案が発生しています。その事案対応を受けて、本校の「いじめ防止基本方針」の改訂をしています。

いじめ防止基本方針の改訂の基本理念として、「いじめはどの学校・学級でも起こりうるものであり、いじめの問題に無関係ですむ児童はいない。」という基本認識に立ち、5月17日(水)には、全児童を体育館に集合させての「校長講話」を実施しました。



今回の「いじめ防止基本方針」の改訂ポイントとしては、次の①～③であります。

①「いじめ」に対する学校の基本的な対応として、いじめを受けた児童への本人の思いに寄り添った丁寧な「支援」、そのいじめを行った児童には、いじめは絶対に許されない行為であることへの「指導」、そのいじめにあった児童の保護者に対する「助言」を継続的に行うことをすべての教職員で共通確認する。

② いじめは休み時間や放課後などの教職員のみえないところで行われることが多いことを伝え、そこで、「いじめを見たら先生に伝えることが友達を守ることになる。」という具体的な対処の仕方を含めた指導を徹底させる。

③「すべての児童を、いじめの加害者にも、被害者にも、傍観者にもしない教育」が学校に期待されていることだと強く自覚し、いじめ撲滅への意欲と責任感を持った教職員集団をめざし、日ごろからの児童と教師の信頼関係の構築につなげる。

「校長講話」の概要スライド

1

この中でこまっている人はいるかな？

2

仲間はすれに
されている。

いやなことや
はすかしいことを
させられている。

このようなことをされると
人の心や体はきずつきます。

3

むし
されている。

遊ぶふりをして
たたかわれている。

このようなことをされると
人の心や体はきずつきます。

4

たたかれたり、
けられたり、ぼう力を
ふるわれている。

ひやかし、
からかいをされたり、
わるぐちを
言われている。

お金や物を
とられている。

このようなことをされると
人の心や体はきずつきます。

5

このほかにも、
人のいやがることを言うことや
スマートフォンやけいたい電話に
わるぐちを書きこむことなども、
人からされるとこまります。

このようなことをされると
人の心や体はきずつきます。

6

相手の心をかんがえてみましょう！

やられている子の思い

わかっていないし
いやがっているよ

かもしらうし
みんなやっているよ

やられている子の思いと
やられていない子のさむさむ
がはしてはあひません！

やられている子のさむさむ

いやって言ったら
しかえしされるかな...

ほんとうはいや
なんだけどなあ...

とつてもくさいよ...

学校に行きたく
ないなあ...

見ていただけだし
悪くないよ

7

相手の**体**をいためつけるだけで
なく、
心にもいやな思いをさせている。

8

つまり

○相手がいやだと感じる
ことは**いじめ**

○1回でも**いじめ**

9

いじめは休み時間やぞうじ、放課後などの
先生のめえないところで行われることが多い！

いじめをされているのをみた！

小さな勇気をだして

**いじめをみたら先生に伝えるこ
とが友だちをまもることになる！**

10

先生たちは、
きみたちの**みかた**だよ！

11

**いじめを
みたら
小さな勇気
をだす**

い いじめをみたら、どんなに小さなことでも
先生にはなしてみよう。

じ じぶんからあいての気持ちを考え、思いや
る心をもとう。

め めの前につらそうな友だちをみたら、じぶ
んにできることで友だちをまもろう。

な なににけないステキな行動で、友だちの
笑顔をひろげよう。

し しんじょうと小さなゆうきでいじめの
ない南園原小にしよう。

12

**いじめをなくして
あんしんしてすごせるために**

**いじめのない
南園原小をめざしましょう！**

子どものふいかえい

○いじめをされている人をみたら先生につたえたいと思った。いじめなしの学校にしたいと思った。いじめをされたら自分からやめてをいえるようにもしたい。いじめをしたら、心も体もきずつくからいじめはだれにもやらないようにしたい。(2年)

○もう、友だちをいじめたり、わるぐちをかいったりしない。たとえば、友だちがいじめられていたら自分で声をかける。もしゆうきがでなかったら、まわりの先生にほうこくする。自分もいじめはしないようにする。(2年)

○ぼくは校長こう話のいじめについて、あらためていじめはだめだとわかったし、少しでも相手がきずついたらいじめなのがあったし、いじめをされてこまったりしている人がいたら助けてあげたいし、ぎゃくにいじめをしている人がいたら注意したいです。そして、いじめはふざけて言ってもだめなのわかりました。ぼくはいじめをされたら、すぐに先生に言いたいです。(4年)

○校長先生の話聞いて、言葉で人をきずつけたりするのが、どんなにやられた人がいやなのかわかりました。いじめにはぼう力だけでなく言葉のいじめがあって人をきずつけ悲しくなるから、ぼう力も言葉のいじめもやりたくないなと思いました。なのでいじめは止めてやらないことをがんばっていきたいです。(5年)